

ココバスの改善、

新福祉会館建設など市民の願い実現に全力



森戸よう子活動REPORT(レポート)

新福祉会館整備計画案

高齢者・障がい者事業の復活を実現

新福祉会館建設基本計画案から外された障がい者や高齢者の施設を復活させることができました。

私をはじめ多くの議員が、旧福祉会館に設置されていた施設の復活を再三再四要求してきました。

しかし、西岡市長は一向に態度を変えませんでした。

そこで私は、計画

案の改善を市議会多

数の意志としてまと

め、市長に示すこ

とを提案。昨年12

月、議会としての

変更案をまとめる

ことができ、復

活できました。



2018年3月に策定した基本計画

清掃関連施設の整備

西岡市長は市民の声を聞いて

清掃関連施設の整備のため、新年度生活環境影響評価調査など4735万円の予算が組まれています。(中町3丁目のリサイクル事業所、空缶、ペットボトル、古紙類、貫井北町の不燃ごみやプラスチック類)西岡市長は、これらの施設を二枚橋焼却場跡地と貫井北町の中間処理用地に分散して設置しようとしています。整備計画案に対し、地元や市民の多数から、建設に異論を唱える声が寄せられています。

私は、新市役所にリサイクル施設を設置し、市民にごみ処理の状況を知ってもらいたいこと、施設の設置場所は市民参加で見直すべきであると要求しました。



二枚橋焼却場用地(野川公園側から撮影)

西岡市長は、こうした提案も無視して強行しようとしています。

京王バス、ココバスの改善を求める

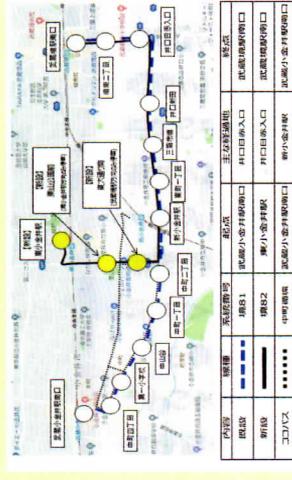
武蔵小金井駅～武蔵境駅間の京王バスのルートとダイヤが突然変更され、多くの市民、とりわけ高齢者、障がい者が困っています。

私は4月28日(土)、市民のみさんとの懇談会を緊急に開催し、そこで出された声を京王バスに届け、見直しを要請しました。

また、市は小金井地域公共交通会議で、新市役所跡の建設に合わせ、今年度から3年間かけて、ココバスルートの見直しなどの検討を行います。

さらに、バス会社への補助金の見直しを行い、料金変更も検討する予定です。私は3月定例会で、東町1, 5丁目の高齢者の足を確保するため、ココバスミニなどの導入を要求しました。

あわせて、停留所の増設や東町循環と



4月中旬から変更になった京王バスのルート(詳細は京王バスのホームページを参照)

中町循環をスムーズに連携できるようにすることなど要求しました。

市は、「地域公共交通会議で検討していく」と答えるのみです。

ココバスは、高齢者など交通弱者の足の確保のために運行されています。利用しやすいたバスの改善させていただきます。



市民待望の特養ホームが開設

5月1日から、貫井北町の国有地に特養ホームが開設されました。定員は152名で、約90名の市民が入所できました。

私は、市民から提出された陳情書の採択に全力をあげました。また、書の内容も遅れても再三再四要求してき



特養ホーム内の様子

た、小金井市が他市と比較して有地の活用も含め建設することを再三再四要求してききます。

小学1年から3年までの医療費助成

全ての子どもたちを対象に

子どもの生命と健康を守るため、小学校1年生から3年生までの所得制限を撤廃する条例をつくり、他の会派で共同提案を行いました。23区や近隣市では、すでに小学校の所得制限が撤廃され、無償です。現在、市議会では継続審議中。実現にむけ、がんばります。



西岡市長 やめてください！ 給与・年金の全額差押え

西岡市政は、市民税や国税の滞納者に対し、預金通帳に振り込まれた給与や年金を全額差し押さえています。

市民から「生活できない。どうしたらいいか」、「借金して払えないと言われた。貸してくれるところはない。」など相談や苦情が寄せられています。

私は生存権を脅かし、法にも反する給与等の全額差し押さえをやめ、滞納者に寄り添う対応を求めました。

